



吉備高原こども園だより

令和7年12月24日発行



保育室からはクリスマスの歌が聞こえ始め、園児たちが楽しんで作ったクリスマスの飾りが室内を彩っています。季節の移り変わりとともに、年末が近づいてきたことを感じる頃となりました。

2学期も、様々な活動や生活の中で、園児たちは、一人一人自分なりに挑戦し、思いやりや主体性を育んできました。その確かな成長の姿に、職員一同、大きな喜びを感じています。

さて、12月5日（金）の生活発表会には、ご多用の中、ご観覧下さり誠にありがとうございました。保護者の皆様には、当日までも温かく見守り、励まして下さったおかげで、園児たちが最後までやり遂げることができました。当日だけではなく、当日まで友達や保育教諭と楽しんできた経験がこれからの自信や意欲につながっていきます。当日の運営に関しまして、ご理解ご協力くださり、ありがとうございました。

「みんなで楽しんできた☆生活発表会」



0歳児 さくら組・1歳 すみれ組
生活遊び「みんなであそぼ」
日頃楽しんでいる挨拶の歌、手遊び、手作り楽器あそび、体操を紹介しました。

2歳 たんぽぽ組
楽器遊び「あわてんぼうのサンタクロース」
劇遊び「バスごっこ」



3歳 もも組
劇遊び「オオカミとこぶた」
ダンス「空とべあおむしくん」
「ロケットペンギン」

4歳 きく組
ダンス「1・2・3」
「すきっちゃんーの！」
劇遊び「おむすびころりん」
歌「手のひらを太陽に」

5歳 ばら組
ダンス「恋愛レボリューション21」
ダンス「ライラック」
劇遊び「みんなのたからもの」
劇遊び「おばけのcockさん」
ダンス「お祭りどっきゅん」歌「にじ」

「吉備高原学園高校（2・3年生）による保育実習」

12月9日（火）

最終回となった交流会では、3年生6名、2年生4名が来られました。手話歌、ハンドベルの演奏、製作遊び（コマ作り）、紙芝居の読み聞かせという楽しい企画を準備してくださいました。園児たちは、お兄さん、お姉さんの名前を覚えるくらい仲良しになりました。



「地域交流 ももたろう会との交流会」

12月17日（水）

利用者の方にダンスや歌を披露したり、肩たたきのプレゼントをしたりしました。園児たちは、地域の施設やそこに暮らす方々と触れ合う中で、身近な地域の存在を知り、人は人と関わり合い、支え合いながら生活していることを感じる大切な機会となりました。玄関には、「ようこそ！吉備高原こども園」という看板を準備して下さっていて温かい気持ちになりました。



一緒にハンドベルで「キラキラ星」を演奏してみよう♪

「食育指導 正しい手洗いの仕方（3歳児）」

12月10日（水）

子育て推進課 栄養士さんから、「正しい手洗いの仕方」、「三色食品群（食べ物の栄養素の働きに基づいて赤・黄・緑の3色に分類したもの）」について教えていただきました。

手洗いでは、日頃から丁寧にしようとする姿が見られています。また、給食でも、元気な体を目指して、好き嫌いをなく食べ、食べる量も増えてきました。



「食育活動 クッキング（すき焼き）2回目」

町健康づくり委員さん訪問

12月19日（木）

町健康づくり委員さん（8名）、町保健課保健師さんのご協力のもと、すき焼き作りに取り組みました。

3歳児は、白菜を小さくちぎり、4歳児は、ピーラーを使って野菜の皮むきをしました。5歳児は、包丁を使っての野菜のカット担当です。

今回も、クッキングの後には、委員さんによる紙芝居の読み聞かせもあり、園児たちが地域の方の優しい声色に聞き入っていました。給食時では出来上がったすき焼きを見て「美味しそう！」と歓声が聞こえてきました。

＜令和8年1月＞ 行事予定

1日（木）元日

2日（金）～3日（土）年始休業日

5日（月）保育始め

7日（水）3学期始業式

9日（金）安全指導

12日（月）成人の日

15日（木）身体計測

16日（金）英語で遊ぼう（5歳児）

20日（火）参観日

21日（水）誕生会

29日（木）大和こども園との交流会（5歳児）

30日（金）避難訓練

☆毎月第3日曜日は、「家庭の日」です。

家族で過ごす時間を通して、愛情と信頼に結ばれた明るい家庭づくりを推進するものです。家族そろって夕食等を共にしましょう。



『伝染性紅斑（りんご病）が流行しています。』

☆主な症状

約10日～20日の潜伏期間の後、微熱や風邪の症状が見られ、その後、両頬に赤い発疹が見られます。続いて、体や手に網目状やレース状の発疹が広がります。多くの場合は、頬に発疹が出現する7～10日前に、微熱や風邪のような症状が見られ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。（参照；厚生労働省）

☆登園基準は、「全身症状が良いこと」となります。

また、登園許可書が必要な感染症となります。

ご理解、ご協力をお願いいたします。